

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
2388	結石分析 3Z065-0000-081-273-49	結石 10mg以上	2	室温	5~7	120 生II	赤外線吸収 スペクトロフォトメトリ		多数検体の場合は予め ご相談下さい。容器は 必ず密栓し(シャーレ不 可)、搬出容器を明記 ※02	尿路結石 胆石
2562	エチルアルコール (エタノール) 3Z040-0000-019-902-01	血液1.0 (ヘパリン加血)	19	冷蔵	4~7	114 生I	GC法	0.1未満		アルコール中毒 エタノール注入療法 のモニター
1073	浸透圧 3H045-0000-023-902-01 3H045-0000-001-902-01	血清0.4	1	冷蔵	2~3	15 血液	氷点降下法	mosm/L・H ₂ O 270~295		糖尿病 熱性疾患 尿崩症 腎機能低下
1074		尿5.0	2	冷蔵		16 糞尿		mOsm/kg・H ₂ O 濃縮時:850以上 希釈時:40~85 (Fishberg試験時)		
2406	ケトン体分画 (アセトン体) 3E045-0000-023-271-00	血清0.3	1	冷蔵	3~4	59 ^① 生I	酵素法	μmol/L 総ケトン体: 26.0~122 アセト酢酸: 13.0~69.0 β-ヒドロキシ酸: 76.0以下		ケトアシドーシス 糖尿病

特殊健康診断 関連検査	5375	トリクロル エチレン 3K011-0000-001-202-01	尿3.0	35	冷蔵	5~11	②	GC法	mg/L	週末の作業日 の作業終了後 に採尿してくだ さい。 ただし、採尿 2時間前に 一度排尿して ください。 98ページを ご参照ください。 ※02	トリクロルエチレン 中毒 1,1,1-トリクロルエタン 中毒
	4765	1・1・1- トリクロルエタン 3K012-0000-001-202-01			冷蔵	5~11	②		mg/L		
	4766	テトラクロル エチレン 3K013-0000-001-202-01			冷蔵	5~11	②		mg/L		
	2467	トリクロル エチレン 3K016-0000-001-202-01	尿3.0	35	冷蔵	5~11	②		mg/L		トリクロルエチレン 中毒 1,1,1-トリクロルエタン 中毒 テトラクロルエチレン 中毒
	4767	1・1・1- トリクロルエタン 3K017-0000-001-202-01			冷蔵	5~11	②		mg/L		
	4768	テトラクロル エチレン 3K018-0000-001-202-01			冷蔵	5~11	②		mg/L		
	5010	馬尿酸(尿) 3K025-0000-001-204-01	尿1.0	35	冷蔵	4~6	②	HPLC法	g/L	※33	トルエン中毒
	5011	メチル馬尿酸(尿) 3K030-0000-001-204-01	尿1.0	35	冷蔵		②		g/L		キシレン中毒
	2247	メチルマロン酸(尿) 3E035-0000-004-202-28	蓄尿5.0	35	冷蔵	8~21	②	GC法	mg/g・cr 0.9~2.7	※01	ビタミンB12欠乏症 メチルマロン酸血症 メチルマロン酸尿症
	5247	N-メチルホルム アミド(尿) 3K045-0000-001-203-01	尿5.0	35	(分離後) 凍結	5~11	②	GC-MSD法	mg/L	※02	N-Nジメチル ホルムアミド中毒

5253	2.5-ヘキササジオン(尿) 3K050-0000-001-203-01	尿5.0	35	(分離後) 凍結	5~11	②	GC-MSD法	mg/L	※02	ノルマルヘキサン中毒
5012	マンデル酸(尿) 3K040-0000-001-204-01	尿1.0	35	(分離後) 凍結	4~6	②	HPLC法	g/L	※33	スチレン中毒

①ケトン体及びケトン体分画の検査を併せて実施した場合は、ケトン体分画の所定点数のみ算定する。
②特殊健康診断関連検査の概要は98ページ参照。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件 ・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
2267	ビタミンB ₁ (チアミン) 3G025-0000-019-210-01	血液0.5	69	冷蔵	4~6	259 生I	LC/MS/MS	ng/mL 24~66	※02	脚気
2268	ビタミンB ₂ (リボフラビン) 3G030-0000-019-204-01	血液0.5	69	遮光 冷蔵	4~6	263 生I	HPLC法	ng/mL 66.1~111.4	採血後専用容器に 採取し、転倒混和後 遮光ポリチューブに 移してから凍結 ※02	舌炎 脂漏性皮膚炎
2269	ビタミンB ₆ 3G036-0000-023-204-01	血清1.0	1	遮光 冷蔵	5~11		HPLC法	下欄参照	遮光が必要 ※01	ビタミンB ₆ 欠乏症
2270	ビタミンB ₁₂ 3G040-0000-023-051-01	血清0.5	1	冷蔵	1~2	152 生I	CLIA法	pg/mL 233~914		悪性貧血 骨髄性白血病 慢性脾炎 萎縮性胃炎
5255	ビタミンC (アスコルビン酸) 3G060-0000-023-204-01	血清0.7	専用	遮光 冷蔵	4~10	314 生I	HPLC法	μg/mL 4.7~17.8	シュウ酸入り容器 に血液8mL採血し 混和後、遠心分離 ※01	壊血病
2271	葉酸 3G105-0000-023-051-01	血清0.5	1	(分離後) 凍結	1~2	162 生I	CLIA法	ng/mL 2.4~9.8		巨赤芽球性貧血 汎血球減少症
5252	ビタミンA (レチノール) 3G015-0000-023-204-01	血清0.3	1	遮光 冷蔵	5~11		HPLC法	μg/dL 27.2~102.7	遮光が必要 ※01	ビタミンA欠乏症 ビタミンA過剰症 肝疾患 高脂血症
2272	ニコチン酸 (ナイアシン) 3G110-0000-019-905-01	血液1.5	19	冷蔵	8~14		バイオアッセイ法	μg/mL 4.7~7.9	※02	ナイアシン欠乏症 ニコチン酸製剤の モニタリング
2181	1,25-(OH) ₂ ビタミンD 3G070-0000-023-001-01	血清0.6	1	冷蔵	4~8	400 ¹ 生I	RIA 2抗体法	pg/mL 成人 20.0~60.0 小児 20.0~70.0	※02	副甲状腺機能障害 慢性腎不全 吸収不良症候群
5256	ビタミンE (トコフェロール) 3G080-0000-023-282-01	血清0.5	1	遮光 冷蔵	4~19		蛍光法	mg/dL 0.75~1.41	※01	ビタミンE欠乏症 高脂血症 肝障害
2498	ビタミンK分画 3G090-0000-022-204-01	血漿2.5	23	遮光 冷蔵	4~10		HPLC法	ng/mL K1:0.15~1.25 K2:0.10以下	※02	出血傾向 消化器疾患 胆道閉塞 肝疾患

①1,25ジヒドロキシビタミンD₃ (1,25 (OH)₂D₃) は、慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依存症I型、もしくは低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病の診断時またはそれらの疾患に対する活性型ビタミンD₃剤による治療中に測定した場合にのみ算定できる。なお、活性型ビタミンD₃剤による治療開始後1月以内においては2回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。

[2269] ビタミンB₆ (ng/mL)

	男 性	女 性
ピリドキサミン (PAM)	0.6以下	0.6以下
ピリドキサル (PAL)	6.0~40.0	4.0~19.0
ピリドキシン (PIN)	3.0以下	3.0以下

